保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   （ロ）お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   （ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   （ホ）本書のご提示がない場合
   （ヘ）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
   （ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   （チ）一般家庭用以外（例:業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	USB ラジオカセットレコーダー			★お買上げ日：　　年　　月　　日
型番	RCS-U500K-S	品番	07-6419	保証期間：本体1年間（お買上げの日から）
お客様	★お名前　　様 ★ご住所 〒　　ー 電話　　（　　）			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話 ㊞			

（注）★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　**お客様相談室** へ
●通話料無料 **0120-963-006**　●携帯・IP・公衆電話からは **048-992-2735**
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　**修理ご相談センター**へ
電話受付 **048-992-3970** 平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-6419A

AudioComm®

USBラジオカセットレコーダー

型番 :RCS-U500K-S

取扱説明書　保証書付

USB RECORDER

カセットテープの音源を USBフラッシュメモリーへ 録音できる!

このたびは、AudioComm® USB ラジオカセットレコーダーをお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**"この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。"** また、お読みになった後も、ご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

目　次

免責事項…… 2
著作権について …… 2
安全上のご注意 …… 2〜4
電源について …… 5
ご使用になる前に（カセットテープについて） …… 6
ご使用になる前に（USB フラッシュメモリーについて） …… 6
各部の名称…… 7
ラジオを聴く …… 8
カセットテープを聴く …… 9
カセットテープに録音する
　録音マイク（内蔵）からカセットテープに録音する場合 …… 10
　ラジオ放送をカセットテープに録音する場合 …… 11
USB フラッシュメモリーにカセットテープの音を録音する…… 12
USB フラッシュメモリーにラジオ放送を録音する …… 13
USB フラッシュメモリーに録音マイクの音を録音する …… 14
USB フラッシュメモリーの音楽／音声ファイルを再生する …… 15〜16
ヘッドホンの使い方 …… 16
お手入れのしかた …… 16
故障かなと思ったら …… 17
主な仕様…… 18
保証書とアフターサービス …… 18
保証書……裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
●本製品によって生じたデータの消失または破損
●本製品のために費やした時間および経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害
●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失
●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

著作権について

放送やレコードその他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 （左図の場合は感電注意が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 （左図の場合は分解禁止が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 （左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。）

⚠ 警告

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- 煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。

万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 販売店にご連絡ください。

万一、内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 販売店にご連絡ください。

本機を分解、修理、改造しない

- 火災・感電の原因となります。

海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない

- 火災の原因となります。
- この機器を使えるのは日本国内のみです。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 修理をご依頼ください。

浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない

- 火災や感電の危険があります。

雷が鳴り始めたら、安全のため本機および電源コードに触れない

表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない

- 火災・感電の原因となります。

乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする

- 万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない

- コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードを敷物などで覆わない

- 気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。

本製品を使用時は必ず付属の電源コードを使う。
また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しない

- 付属の電源コードは本製品専用です。
- 製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

- コードが破損して火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない

- 火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

- コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない

- キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

- 火災・感電の原因となることがあります。

電源を入れる前には、音量を最小にする

- 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる

- 間違えると電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の乾電池は使用しない。
また、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない

- 乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く

- 感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 必ずプラグを持って抜いてください。

持ち運びするときは、アンテナを折り畳む

- 伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。

移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

- コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

お子様がカセットドア内に手を入れないように注意する

- けがの原因となることがあります。

ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す

- 火災・液もれの原因となることがあります。

電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニター等)に近づけない

- 電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

電源について

⚠ 電源コードを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行ってください。

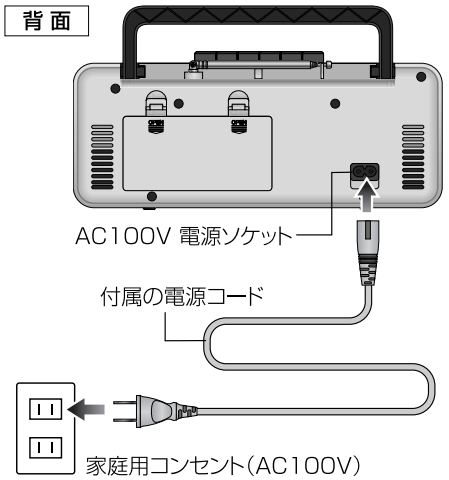
⚠ 電源を入れる前に音量(ボリューム)を最小にしてください。
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

家庭用電源で使う場合

付属の電源コードで本機のAC100V電源ソケットと家庭用コンセントを接続します。

◆乾電池が入っている場合でも、電源コードを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。

◆本機を使用しないときは電源コードをコンセントから外してください。

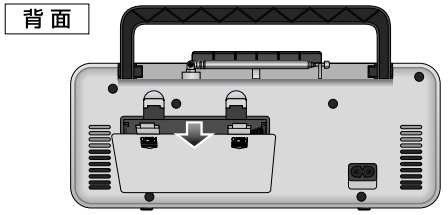


乾電池で使う場合

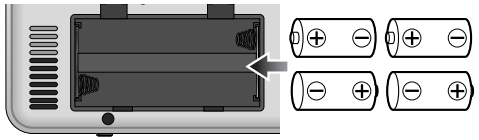
◆アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。

◆電池カバーを外し、乾電池の⊕と⊖を間違えないように、単2形乾電池4本を入れます。

※長時間使用するときや大切な録音をするときは、付属の電源コードを使用してください。



本体背面の電池カバーのツメを押し下げながら手前に引き、電池カバーを開けてください。



乾電池の向きを図のように正しく入れてください。コイルばねのあるほうが⊖側です。

単2形乾電池4本使用(別売)

※付属の電源コード(ACコード)は本製品専用です。本製品をご使用の際には、必ず付属の電源コード(ACコード)をお使いください。また、付属の電源コード(ACコード)は絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない
⚠ 注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。

●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

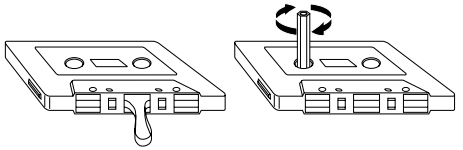
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

ご使用になる前に(カセットテープについて)

カセットテープの取扱上の注意点

◆テープのたるみは、テープの巻きつきや切断の原因になります。

◆テープがたるんでいないかどうか確かめ、たるんでいる場合は図のように鉛筆などで必ず直してからご使用ください。



◆カセットテープを入れたままにしたり、再生／録音状態のまま電源を切らないでください。テープが回転部分に密着したままになるので、からみや巻きつきの原因となります。カセットテープは必ず取り出して保管してください。

◆テープ動作中の巻戻し・早送り操作は、テープ巻きつきの原因となることがあります。必ず停止させてから巻戻し・早送りの操作を行なってください。

◆テープの損傷を避けるため、大切なテープやオリジナルテープは必ずダビングし、ダビングしたテープを本機でお使いください。

◆エンドレステープは使用できません。

録音時の注意点

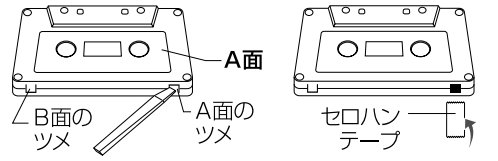
◆ツメを折ってあるテープは録音ボタンの操作ができません。無理に押したりすると故障する場合もありますのでご注意ください。

◆ノーマルテープ(TypeⅠ)をお使いください。ハイポジションテープ(TypeⅡ)やメタルテープ(TypeⅣ)には録音できません。また、ノーマルテープについてもC-60(60分テープ)までのテープを使用してください。C-90以上の長時間テープは通常のカセットテープに比べて非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれる等のトラブルの原因になりますので、ご使用はお薦めできません。

◆カセットテープの両端にあるリーダーテープ部分(透明部)は録音ができません。録音前にこの部分を送っておきましょう。

大切な録音を消さないために

保存しておきたいテープの場合、カセットのうしろ側にある「ツメ」を折っておくと、間違って大切な録音を消去せずにすみます。再び録音したい場合は、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼りつけてください。



間違って消したくないときは
ツメを折る

再度録音したいときは
テープで折った穴をふさぐ

ご使用になる前に(USBフラッシュメモリーについて)

USBフラッシュメモリーは8GBまでのタイプを推奨します。再生可能なファイル形式はMP3です。
また、録音ファイル形式はMP3(128kbps)ステレオとなります。ただし録音マイクによる録音はモノラル音声です。

【ご注意】

●市販のUSBハブは使えません。USBフラッシュメモリーを直接USB端子に差し込んでご使用ください。

●USBフラッシュメモリーの仕様／フォーマット型式やご使用状況により、正常に再生・録音されなかったり、またはご使用になれないことがあります。

●不具合の原因となりますので、動作中のUSBフラッシュメモリーには触れないでください。また、抜き差しする際は、電源が切れている状態(ファンクション切換スイッチ=「切/テープ」)で行なってください。

●USB端子は再生・録音専用です。充電機能は搭載されておりません。

●DRM(デジタル著作権管理)ファイルの再生はできません。

●ラジオからUSBフラッシュメモリーに録音時、受信環境などによりノイズが入る場合があります。できるだけ良好な受信状態のもとで録音してください。AMラジオは、機能上ノイズの影響を受けやすく、録音にはノイズが発生することをご了承ください。

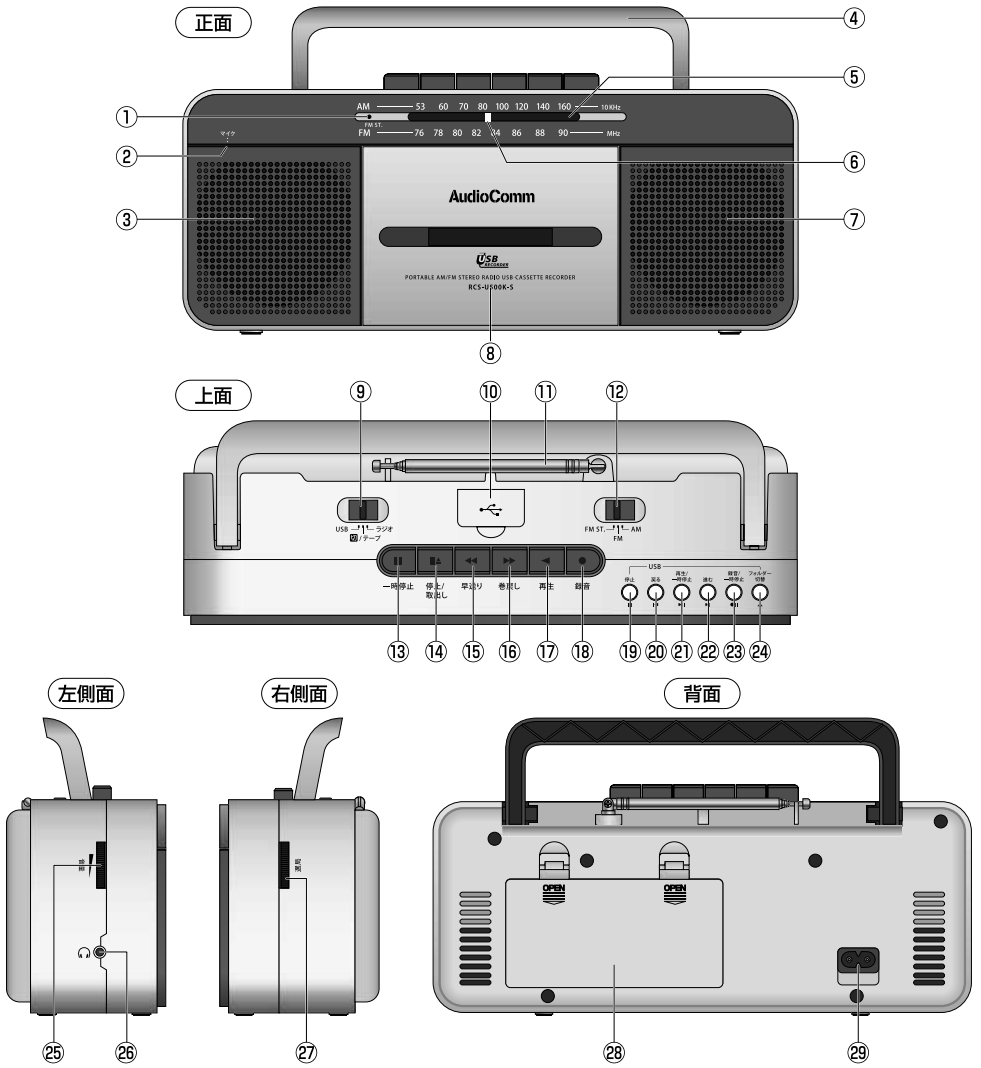
●USBフラッシュメモリー内にあるファイルを本機で消去することはできません。パソコン等で操作してください(詳しくはパソコンに付属の取扱説明書等をご参照ください)。

●大切な録音は、パソコンなどにハードコピーを取ることをおすすめします。

●USBのフォーマット機能はありませんので、パソコン等で行なってください(ファイルシステムFAT32対応)。

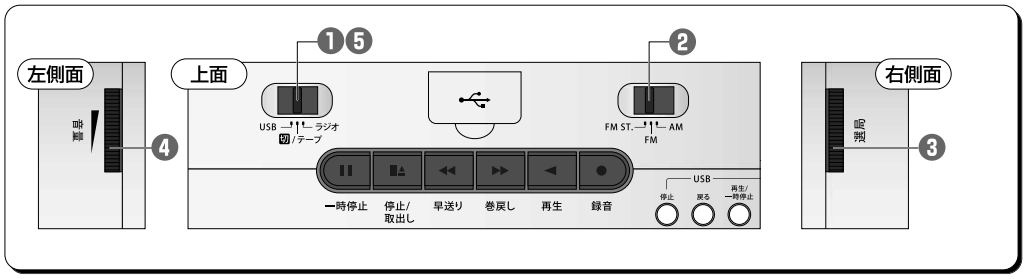
●持ち運び時は、ハンドルの干渉等による不具合や破損を避けるため、USB端子から取り外すことをおすすめします。

各部の名称



①FMステレオ表示ランプ
②録音マイク(内蔵)
③左スピーカー
④ハンドル
⑤選局目盛り
⑥選局指針
⑦右スピーカー
⑧カセットドア
⑨ファンクション切換スイッチ
⑩USB端子
⑪FMロッドアンテナ
⑫バンド切換スイッチ
⑬一時停止ボタン
⑭停止／取出しボタン
⑮早送りボタン
⑯巻戻しボタン
⑰再生ボタン
⑱録音ボタン
カセット操作部
⑲停止ボタン
⑳戻るボタン
USB操作部
㉑再生／一時停止ボタン
㉒進むボタン
㉓録音／一時停止ボタン
㉔フォルダー切替ボタン
USB操作部
㉕音量調整ツマミ
㉖ヘッドホン端子
㉗選局ツマミ
㉘電池カバー
㉙AV100V電源ソケット

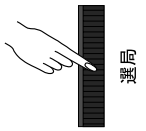
ラジオを聴く

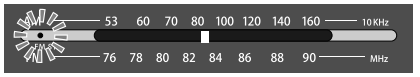


❶ ファンクション切換スイッチを「ラジオ」に合わせます。

❷ バンド切換スイッチで、AM、FM、FM ST.(ステレオ)のいずれかを選びます。

❸ 選局ツマミを回して聴きたい放送局を受信します。





FMステレオを選択している場合、良好に受信するとFMステレオ表示ランプが点灯します。

❹ 音量調整ツマミでお好みの音量に調整します。

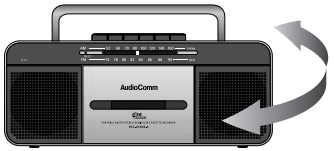
音量を上げすぎないでください。周囲の迷惑になるだけでなく、長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

❺ ラジオを切るときは、ファンクション切換スイッチを「切／テープ」に合わせます。

受信状態をよくするには

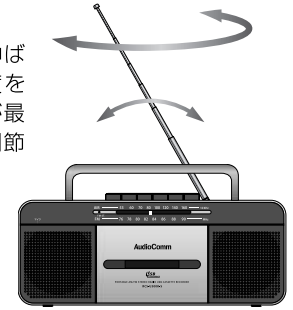
●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



●FM放送の受信

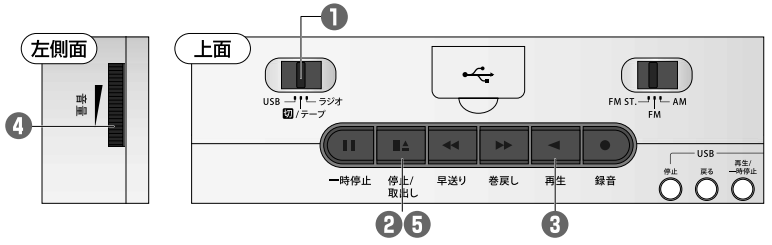
ロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。



ご注意

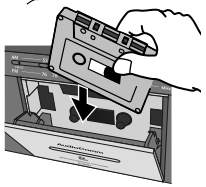
- ●テレビの近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機を離してご使用ください。
- ●持ち運び時は、目をついたり危険ですので、FMロッドアンテナは縮めた状態でお持ち運びください。
- ●近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意しましょう。

カセットテープを聴く



1 ファンクション切換スイッチを「切／テープ」に合わせます。

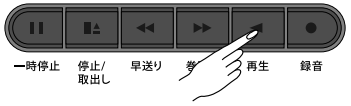
2 停止／取出しボタンを押して
カセットドアを開け、
カセットテープを正しく装着します。



テープの見える側を上に、再生する面を手前に向けて入れ、カセットドアを手で押して閉めてください（テープは右から左へ走行します）。

テープ装着後はカセットドアを確実に閉めてください。

3 再生ボタンを押すと、再生が始まります。



4 音量調整ツマミでお好みの音量に
調整します。

音量を上げすぎないでください。周囲の迷惑になるだけでなく、長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

5 停止／取出しボタンを押すと、
テープ走行が止まります。

カセットテープ操作ボタンの基本機能

一時停止（❚❚）…… 再生（録音）中に押すと、再生（録音）を一時停止します。もう一度押すと、再生（録音）を再開します。

停止／取出し（▲）… 早送り・巻戻し・再生・録音中に押すとそれらの動作を停止します。停止中に押すとカセットドアが開きます。

早送り（◀◀）…… 押すとテープを左側のリールに早送りします。

巻戻し（▶▶）…… 押すとテープを右側のリールに巻戻しします。

再生（◀）…… 押すとテープを再生します。

録音（●）…… 押すとテープに録音します。このボタンを押すだけで再生ボタンも一緒に押し込まれ、録音状態になります。

ヒントとご注意

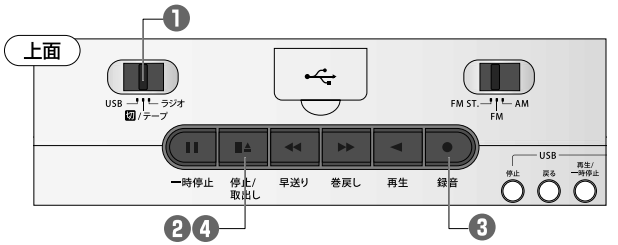
●**セミオートストップ機能**
録音／再生時に、テープが終わりまで行くと自動的に止まり、押し込まれていた操作ボタンも自動的に上がります。
早送り／巻戻しでは自動的に止まりません。故障の原因となることがありますので、必ず停止ボタンで止めてください。

●**テープ走行動作中に他動作へ移る際は、必ず停止ボタンでテープ動作を停止させてから行ってください。テープのからまり、故障や破損の原因になることがあります。**

●使い終わったら、カセットテープを取出し、ケースに入れて保管してください。長期間本機内に入れたままにすると、からみや巻きつきによって、本機およびカセットの故障、破損の原因となるおそれがあります。

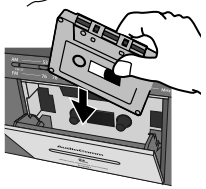
カセットテープに録音する

録音マイク（内蔵）からカセットテープに録音する場合



1 ファンクション切換スイッチを
「切／テープ」に合わせます。

2 停止／取出しボタンを押して
カセットドアを開け、
カセットテープを正しく装着します。



テープの見える側を上に、録音する面を手前に向けて入れ、カセットドアを手で押して閉めてください（テープは右から左へ走行します）。

テープ装着後はカセットドアを確実に閉めてください。

3 録音ボタンを押すと、録音が始まります。

※再生ボタンも同時に押し込まれます。

4 録音を終えるときは
停止／取出しボタンを押します。

ヒントとご注意

●カセットテープの両端にあるリーダーテープ部分（透明部）は録音ができません。録音前にこの部分を送っておきましょう。

●録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません。

●本機の録音マイクは正面左にありますので、録音時はマイク部を音源に向けてください。

●録音音声はモノラル音声となります。

●テープが終わりまで行くと自動的に止まり、押し込まれていた操作ボタンも自動的に上がります。

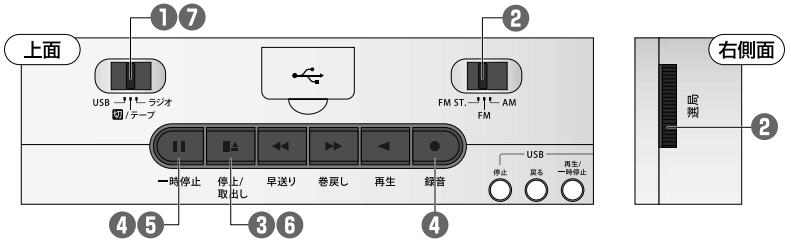
●大切な録音をする時は、付属の電源コードのご使用をお薦めします。

●カセットテープとUSBフラッシュメモリーに同時に録音することはできません。

●USBフラッシュメモリーからカセットテープへの録音はできません。

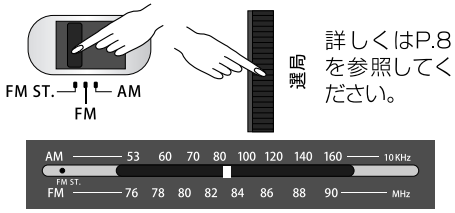
●使い終わったら、カセットテープを取出し、ケースに入れて保管してください。長期間本機内に入れたままにすると、からみや巻きつきによって、本機およびカセットの故障、破損の原因となるおそれがあります。

ラジオ放送をカセットテープに録音する場合



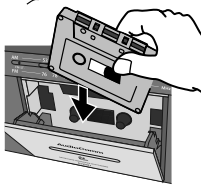
❶ ファンクション切換スイッチを「ラジオ」に合わせます。

❷ バンド切換スイッチと選局ツマミを使って録音したい放送局を受信します。



詳しくはP.8を参照してください。

❸ 停止／取出しボタンを押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく装着します。



テープの見える側を上に、録音する面を手前に向けて入れ、カセットドアを手で押して閉めてください（テープは右から左へ走行します）。

テープ装着後はカセットドアを確実に閉めてください。

❹ 一時停止ボタンを押した後、録音ボタンを押して、録音一時停止状態にします。

※録音ボタンを押すと再生ボタンも同時に押し込まれます。

❺ もう一度、一時停止ボタンを押すと録音が始まります。

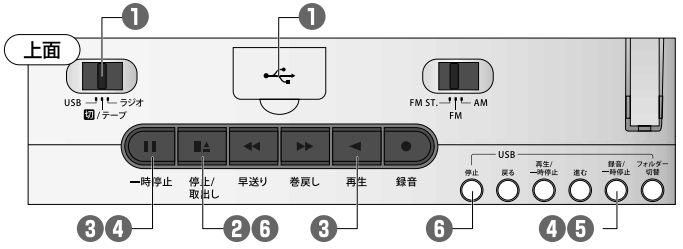
❻ 録音を終えるときは、停止／取出しボタンを押します。

❼ 終了したらファンクション切換スイッチを「切／テープ」に合わせます。

ヒントとご注意

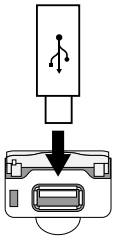
- ●受信環境などによりノイズが入る場合があります。できるだけ良好な受信状態のもとで録音してください。
- ●録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません。
- ●テープが終わりまで行くと自動的に止まり、押し込まれていた操作ボタンも自動的に上がります。
- ●大切な録音をする時は、付属の電源コードのご使用をお薦めします。
- ●カセットテープとUSBフラッシュメモリーに同時に録音することはできません。
- ●使い終わったら、カセットテープを取出し、ケースに入れて保管してください。長期間本機内に入れたままにすると、からみや巻きつきによって、本機およびカセットの故障、破損の原因となるおそれがあります。

USBフラッシュメモリーにカセットテープの音を録音する



USBフラッシュメモリーの仕様・容量・使用状況により、正常に機能しない場合があります。その際は、再度セットし直すか、リセット操作（ファンクション切換スイッチを「切／テープ」にした後、再度「USB」を選択する）を行なってください。

❶ 電源が切れている状態（ファンクション切換スイッチ＝「切／テープ」）で、USBフラッシュメモリーを本機にセットします。



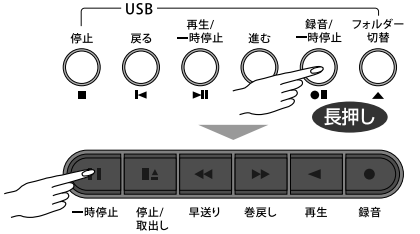
- ●USB端子のカバーを開け、接続部の向きを確かめて正しく差し込んでください。

❷ 録音元となるカセットテープをセットします。

P.9を参照して正しくセットしてください。

❸ カセットの操作ボタンで、録音を始めたい箇所までテープを送り、再生ボタンと一時停止ボタンを押します＝録音待機

❹ USB 操作部の録音／一時停止ボタンを長押しし、その後カセットの一時停止ボタンを押します＝録音開始



- ●USBフラッシュメモリーの容量や使用量によって、録音／一時停止ボタンを押してから録音開始まで2秒～数十秒かかることがあります。
- ●録音／一時停止ボタンを長押しすると、ボタンが赤く点灯し、1回点滅した後に録音が始まります（録音中は点灯します）。

❺ 録音を一時停止するときは、録音／一時停止ボタンを押します。

- ●録音一時停止中は録音／一時停止ボタンが点滅します。
- ●録音一時停止中もテープの再生は進みます。
- ●もう一度押すと録音を再開します。

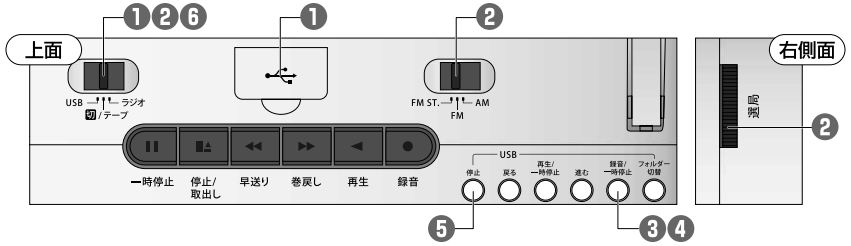
❻ 録音を終えるときは、USB の停止ボタンまたはカセットの停止／取出しボタンを押します。

- ●USBの停止ボタンを押した場合…録音を停止しますが、テープの再生は続きます。
- ●カセットの停止／取出しボタンを押した場合…テープの再生とUSBへの録音の両方が同時に止まります。

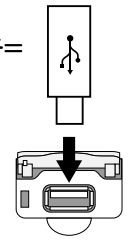
ヒントとご注意

- ●録音／一時停止ボタンを押した後約5秒間は書き込み動作のため、他のUSB操作ボタンの操作はできません。
- ●空き容量がないUSBフラッシュメモリーをご使用の場合、停止ボタンと再生／一時停止ボタンが約5秒間点滅後停止します。
- ●録音途中でUSBフラッシュメモリーの書き込み領域がなくなった場合、録音中のファイルは記録されません。
- ●本機にはカレンダー／時計機能がありませんので、録音ファイルにはファイル番号と任意の時間データが記録されます。
- ●録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません。
- ●大切な録音をする時は、付属の電源コードのご使用をお薦めします。

USBフラッシュメモリーにラジオ放送を録音する

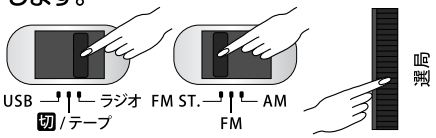


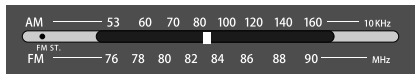
❶ 電源が切れている状態（ファンクション切換スイッチ=「切／テープ」）で、USBフラッシュメモリーを本機にセットします。



USB端子のカバーを開け、接続部の向きを確かめて正しく差し込んでください。

❷ ファンクション切換スイッチを「ラジオ」に合わせたあと、バンド切換スイッチと選局ツマミを使って録音したい放送局を受信します。



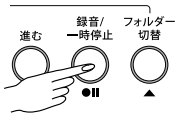


詳しくはP.8を参照してください。

❸ USB 操作部の録音／一時停止ボタンを長押しします=録音開始

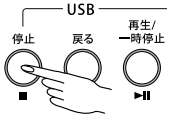
- ●USBフラッシュメモリーの容量や使用量によって、録音／一時停止ボタンを押してから録音開始まで2秒～数十秒かかることがあります。
- ●録音が始まると録音／一時停止ボタンが赤く点灯します。
- ●USBの録音／一時停止ボタンを短く押した場合、ボタンは点灯しますが、実際にはラジオ放送が録音されないことがありますので、必ず長押ししてください。

❹ 録音を一時停止するときは、録音／一時停止ボタンを押します。

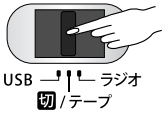


- ●録音一時停止中は録音／一時停止ボタンが点滅します。
- ●もう一度押すと録音を再開します。

❺ 録音を終えるときは、停止ボタンを押します。



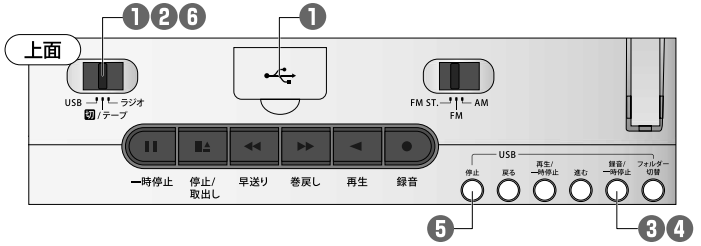
❻ 終了したらファンクション切換スイッチを「切／テープ」に合わせます。



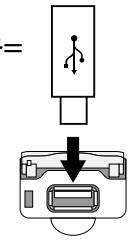
ヒントとご注意

- ●受信環境などによりノイズが入る場合があります。できるだけ良好な受信状態のもとで録音してください。
- ●空き容量がないUSBフラッシュメモリーをご使用の場合、停止ボタンと再生／一時停止ボタンが約5秒間点滅後停止します。
- ●録音途中でUSBフラッシュメモリーの書き込み領域がなくなった場合、録音中のファイルは記録されません。
- ●本機にはカレンダー／時計機能がありませんので、録音ファイルにはファイル番号と任意の時間データが記録されます。
- ●録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません。
- ●大切な録音をする時は、付属の電源コードのご使用をお薦めします。
- ●USBフラッシュメモリーとカセットテープに、ラジオ放送を同時に録音することはできません。

USBフラッシュメモリーに録音マイクの音を録音する



❶ 電源が切れている状態（ファンクション切換スイッチ=「切／テープ」）で、USBフラッシュメモリーを本機にセットします。



USB端子のカバーを開け、接続部の向きを確かめて正しく差し込んでください。

❷ ファンクション切換スイッチを「USB」に合わせます。

音楽（音声）ファイルを含むUSBフラッシュメモリーの場合、USBフラッシュメモリー内のファイルが自動的に再生されます。停止ボタンを押して再生を停止してください。

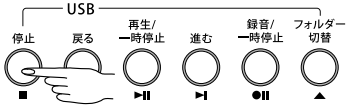
❸ USB 操作部の録音／一時停止ボタンを押します=録音開始

- ●USBフラッシュメモリーの容量や使用量によって、録音／一時停止ボタンを押してから録音開始まで2秒～数十秒かかることがあります。
- ●録音が始まると録音／一時停止ボタンが赤く点灯します。

❹ 録音を一時停止するときは、録音／一時停止ボタンを押します。

- ●録音一時停止中は録音／一時停止ボタンが点滅します。
- ●もう一度押すと録音を再開します。

❺ 録音を終えるときは、停止ボタンを押します。

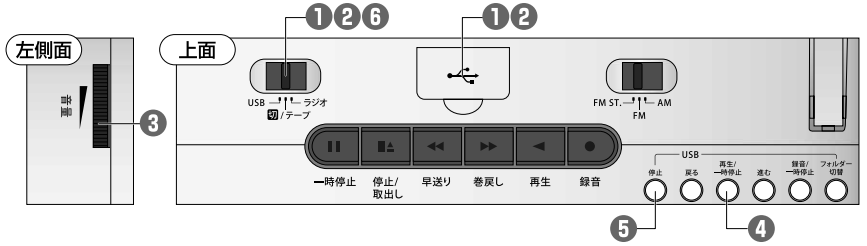


❻ 終了したらファンクション切換スイッチを「切／テープ」に合わせます。

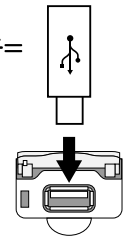
ヒントとご注意

- ●録音／一時停止ボタンを押した後約5秒間は書き込み動作のため、他のUSB操作ボタンの操作はできません。
- ●空き容量がないUSBフラッシュメモリーをご使用の場合、停止ボタンと再生／一時停止ボタンが約5秒間点滅後、自動的にファイル再生となります。
- ●録音途中でUSBフラッシュメモリーの書き込み領域がなくなった場合、録音中のファイルは記録されません。
- ●本機にはカレンダー／時計機能がありませんので、録音ファイルにはファイル番号と任意の時間データが記録されます。
- ●録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません。
- ●USBフラッシュメモリーとカセットテープに同時に録音することはできません。
- ●録音音声はモノラル音声となります。
- ●大切な録音をする時は、付属の電源コードのご使用をお薦めします。
- ●USBを挿入しない状態（停止点滅）では電源が切れていません。ご使用にならない場合は、必ずファンクション切換スイッチを「切／テープ」にして電源を切ってください。

USBフラッシュメモリーの音楽／音声ファイルを再生する



❶ 電源が切れている状態（ファンクション切換スイッチ=「切／テープ」）で、USBフラッシュメモリーを本機にセットします。



USB端子のカバーを開け、接続部の向きを確かめて正しく差し込んでください。

❷ ファンクション切換スイッチを「USB」に合わせます。

USBフラッシュメモリー内にファイルがある場合は自動的に再生が始まります。

- ●本機で録音したファイルを再生時…再生／一時停止ボタンがピンク色に点灯
- ●パソコン等からコピーしたファイルを再生時…再生／一時停止ボタンが青色に点灯

※USBフラッシュメモリー未接続でファンクション切換スイッチを「USB」に合わせた場合は、停止ボタンが赤く点滅します。

※再生は、再生中のフォルダー（REC ／音楽）内で自動的にリピート（オールリピート）再生となります。

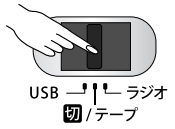
❸ 音量調整ツマミでお好みの音量に調整します。

❹ 再生を一時停止するときは、再生／一時停止ボタンを押します。

一時停止中は、再生／一時停止ボタンが点滅します。もう一度押すと再生を再開します。

❺ 再生を停止するときは停止ボタンを押します。

❻ 終了するときは、ファンクション切換スイッチを「切／テープ」に合わせます。



USBフラッシュメモリーは、本機の電源を切ったあと、抜いてください。USBを取り外しただけの状態（停止点滅）では電源が切れていません。ご使用後は、必ずファンクション切換スイッチを「切／テープ」にして電源を切ってください。

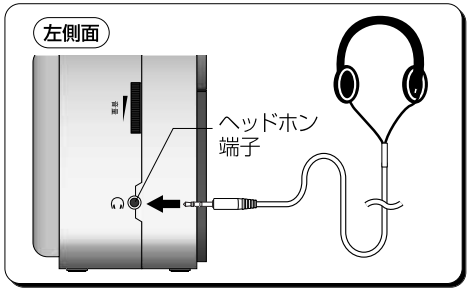
USB操作ボタンの基本機能（再生時）

停止 ■	再生および録音を停止します。
戻る ⏮	録音順にひとつ新しいファイルに移動して再生します。押すたびに、さらに新しいファイルへ移動し、最後までいくといちばん古いファイルに移動します。長押しすると約20倍速での早戻しサーチになります。ファイルの先頭まで戻ると同じファイルが再生されます。
再生/一時停止 ▶II	最新の録音ファイルが最初に再生されます。再生が終わると、録音順にひとつ古いファイルが再生されます。また、押すたびに再生と一時停止を繰り返します。 ※音楽ファイルの場合は、ファイル／フォルダー（階層）の記録時間の新しい順に再生されます。
進む ⏭	録音順にひとつ古いファイルに移動して再生します。押すたびに、次に古いファイルに移動し、最後までいくといちばん新しいファイルに移動します。長押しすると約20倍速での早送りサーチになります。ファイルの最後まで進むと次のファイルが再生されます。
フォルダー切替 ▲	本機による録音フォルダー（RECフォルダー）とパソコン等でコピーしたファイル（フォルダー）を切り換えます。いずれか一方しかない場合は、先頭のファイルへ移動後再生します。

ヒントとご注意

- ●本機にてUSBフラッシュメモリーに録音したファイルは、自動作成された「REC」フォルダーに収められています。パソコン等にてコピーした音楽／音声ファイル（フォルダー）と、本機での録音ファイル（フォルダー）の両方を含むUSBフラッシュメモリーを再生する場合は、フォルダー切替ボタンを押すことで、フォルダーの切換えができます（再生中のフォルダーは、ステップ❷で解説している、再生／一時停止ボタンの色で判別できます）。
- ●MP3以外のファイルを含むUSBフラッシュメモリーを使用した場合、認識されない、または正常に再生できないことがあります。パソコン等で確認し、MP3形式の音楽／音声ファイルだけを記録したUSBフラッシュメモリーをご使用ください。
- ●USBフラッシュメモリーの仕様／フォーマット型式やご使用状況により、正常に再生されない、またはご使用になれないことがあります。
- ●DRM（デジタル著作権管理）ファイルの再生はできません。

ヘッドホンの使い方



- ●別売のステレオヘッドホン（φ3.5mm ステレオミニプラグ ）をヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。
- ●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- ●家庭用コンセントでご使用時、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音（ラジオなどの音声に混じって聞こえる「ブーン」という音）が耳障りになるときがあります。その場合は乾電池にてご使用になられるようお願いいたします。

お手入れのしかた

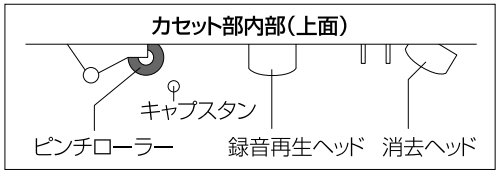
※お手入れの前には、あらかじめ電源コードや乾電池を外し、誤って電源が入らないようにしてから行なってください。

ヘッド部の清掃について

ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーは長い間使っていると磁粉やゴミ、ほこりなどが付着して汚れてきます。汚れがひどくなると、音質が悪い、音が小さい、録音できない、前の音が消えないで残る、などの症状が出ます。定期的にヘッド部を清掃してください。

ヘッド部の清掃方法

カセットドアを開け、別売のクリーニングキッドでヘッドやピンチローラー、キャプスタンなどの汚れを拭き取ります。なお、内部についたクリーナー液が十分に乾いてからテープをセットしてください。



ヘッドの消磁を行うには市販の消磁器をお使いください。カセットタイプの消磁器をお使いになるときは、必ず再生ボタンのみを押し込んで消磁してください。詳しくはヘッド消磁器の説明書をご覧ください。

※本機の消去ヘッドはマグネットタイプになっていますので消磁しないでください。

キャビネットの清掃

- ●キャビネットや操作ボタンなどが汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。
- ●電源コードのプラグにほこりがたまると、発火する危険があります。プラグをコンセントから抜いて時々清掃してください。
- ●**シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。**変質したり、塗料がはげることがあります。

故障かなと思ったら

本機の調子がおかしいときは、サービスをご依頼になる前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターにご連絡ください。

	症 状	チェック項目
共通部	動作しない	電源コードがはずれて（ゆるんで）いませんか？
		乾電池が正しく入っていますか？
		乾電池が消耗していませんか？
	音が出ない	音量が最小になっていませんか？
		ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか？
		ファンクション切換スイッチが適切な位置になっていますか？
カセット部	カセットドアが閉まらない	カセットが逆向きではありませんか？
		操作ボタンを押していませんか？
	テープ走行が不安定 テープが走行しない	テープがたるんでいませんか?
		乾電池が消耗していませんか?
	テープが機械に巻きつく	ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか?
		テープがたるんでいませんか?
		カセットドアがきちんと閉まっていますか?
	録音ボタンが押せない	録音しようとするカセットの誤消去防止用のツメが折れていませんか?
		カセットドアがきちんと閉まっていますか?
		カセットが入っていますか?
	前の録音を完全に消去できない 録音した音がひずむ	ハイポジション（TypeⅡ）やメタルポジションテープ（TypeⅣ）を使っていませんか?
		消去ヘッドが汚れていませんか?
	雑音がひどい、音が震える 音飛びがする、高音が出ない	ヘッドやピンチローラー、キャプスタンが汚れていませんか?
		テープがたるんでいませんか?
		乾電池が消耗していませんか?
	録音できない	ヘッドが汚れていませんか?
		録音防止用のツメが折れていませんか?
	ラジオは聴けるのに テープの音が出ない／小さい	乾電池が消耗しています。新しい乾電池に替えてください。
ラジオ部	ラジオ時に雑音が入る	近くで携帯電話を使用していませんか?（携帯電話を本機から離して使用してください。）
		テレビや蛍光灯の近くで AM 放送を受信すると、AM 放送に雑音が入ることがあります。またテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
USB部	USB フラッシュメモリーを 認識しない	USB 端子に正しく接続されていますか。
		USB フラッシュメモリーに音楽（音声）ファイルが記録されていますか。
		USB フラッシュメモリー内のデータが壊れていませんか。
	正しく再生されない	MP3 形式以外のデータが含まれていませんか。該当ファイルをパソコン等で削除してみてください。
	USB フラッシュメモリーを 差し込めない	間違った向きで差し込もうとしてませんか。

主な仕様

■共通部

定格出力	600mW×2(r.m.s)
周波数特性	100Hz ～ 8kHz
スピーカー	78mmx2 個
電源	AC 100V 50/60Hz
	単 2 形乾電池 ×4 本（別売）
定格消費電力	7W
外形寸法	幅 290× 高さ 116× 奥行 85mm（突起物含まず）
重量	約 1150g（乾電池含まず）

■乾電池での使用時間の目安

	アルカリ乾電池	マンガン乾電池
ラジオ時	約 90 時間	約 40 時間
テープ再生時	約 35 時間	約 20 時間
USB 再生時	約 25 時間	-
USB 録音時	約 10 時間	-

■カセットデッキ部

トラック方式	4トラック 2 チャンネル ステレオ方式
ワウ／フラッター	0.35%以下

■ラジオ部

受信周波数	FM：76～90MHz
	AM：530～1605kHz
アンテナ	FM：ロッドアンテナ
	AM：内蔵フェライトバーアンテナ

■USB 部

対応規格	USB2.0（FAT32）～8GB 推奨
フォーマット	録音　MP3 ／ 128kbps
	再生　MP3
対応データ構成	999ファイル／255フォルダー·6階層

■付属品

電源コード、取扱説明書（保証書）

※乾電池での使用時間の目安は、音量などの使用状況や乾電池の種類によって異なります。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。